

令和元年度の事後調査実施状況（動植物）

鳥取県東部広域行政管理組合では、可燃物処理施設整備事業について環境影響評価を実施し、現在事後調査を行っています。

令和元年度に実施した事後調査の概要は表 1に示すとおりです。

表 1 令和元年度に実施した保全措置の概要

項目	内容	結果
植物 貴重植物の移植後のモニタリング	<p>【内容】 調査項目：コクラン、ミズマツバ 調査内容：コクラン、ミズマツバの移植箇所において植物の活着状況を確認する。 調査時期：対象植物の状況確認に適した時期に1回。</p> <p>【実施日】 コクラン： 令和元年7月18日(木)～ 令和元年7月19日(金) ミズマツバ： 令和元年10月10日(木)</p> <p>調査地点：事業実施区域内の移植地 コクラン 2地点 ミズマツバ 1地点 (調査地点は植物保全の観点から図示しない。)</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コクラン：平成28年に再移植した区画では計33株のうち、14株の生育を確認しました（生存率42.4%）。また、移植地の周辺で新たに31株の自生を確認しました。生育株については全体的に健全状態の株が増加する傾向がみられました。 ・ミズマツバ：仮移植地において生育株を確認することはできませんでした。また、ミズマツバ自生地の表土を本移植地のビオトープに撒き出しました。
ホンゴウソウの保全措置	<p>【内容】 調査項目：ホンゴウソウ 調査内容：ホンゴウソウの生息地点を確認し、分布状況、株数を確認する。 調査時期：ホンゴウソウの確認しやすい時期(8～10月)に1回。</p> <p>【実施日】 令和元年10月9日(水)～ 令和元年10月10日(木)</p> <p>調査地点：環境評価書における確認地点 1地点 (調査地点は植物保全の観点から図示しない。)</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホンゴウソウ：調査地点周辺において62株の生育を確認しました。

動物・ 水生生物・生態系	フクロウの モニタリング	<p>【内容】</p> <p>調査項目：フクロウ</p> <p>調査内容：任意調査、定点調査等によりフクロウの縛張りの分布状況、繁殖状況を把握する。</p> <p>調査時期：フクロウの繁殖時期である2月、5月、6月に実施。</p> <p>【実施日】</p> <p>令和元年5月27日(月) 令和元年6月24日(月) 令和2年2月3日(月)</p> <p>調査地点：事業実施区域周辺約0.5km (詳細は事後調査計画書を参照)</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フクロウ：5月、6月、2月にモニタリングを実施し、オスの鳴き声が16例、メスの鳴き声が1例確認されました。調査地点での繁殖の兆候については、確認されませんでした。
	カスミサンショウウオ・イモリの移植及び移植後のモニタリング	<p>【内容】</p> <p>調査項目：カスミサンショウウオ・イモリ</p> <p>調査内容：任意調査により移植したカスミサンショウウオの産卵状況、繁殖状況を把握する。</p> <p>調査時期：カスミサンショウウオの産卵器、イモリの越冬期である2月、3月に実施。</p> <p>【実施日】</p> <p>令和2年2月3日(月)～ 令和2年2月5日(水)</p> <p>令和2年3月4日(水)～ 令和2年3月6日(金)</p> <p>調査地点：事業実施区域周辺約0.2km (詳細は事後調査計画書を参照)</p>	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カスミサンショウウオ：本移植地のビオトープ周辺にて、2月に成体6個体、卵のう8対、3月に成体1個体、幼生10個体、卵のう2対を確認しました。また、仮移植地周辺では2月に成体21個体、幼生7個体、卵のう49対、3月に成体3個体、幼生31個体、卵のう9対を確認しました。 ・イモリ：本移植地のビオトープ周辺ではイモリの生息は確認されませんでしたが、仮移植地周辺にて2月に成体5個体、3月に成体2個体を確認しました。

<令和元年度の事後調査の主な実施状況写真>



コクランの花



結実したコクラン



ホンゴウソウ



ミズマツバ調査状況



フクロウ調査状況



カスミサンショウウオ・イモリ調査状況



カスミサンショウウオの計測状況



カスミサンショウウオ成体